

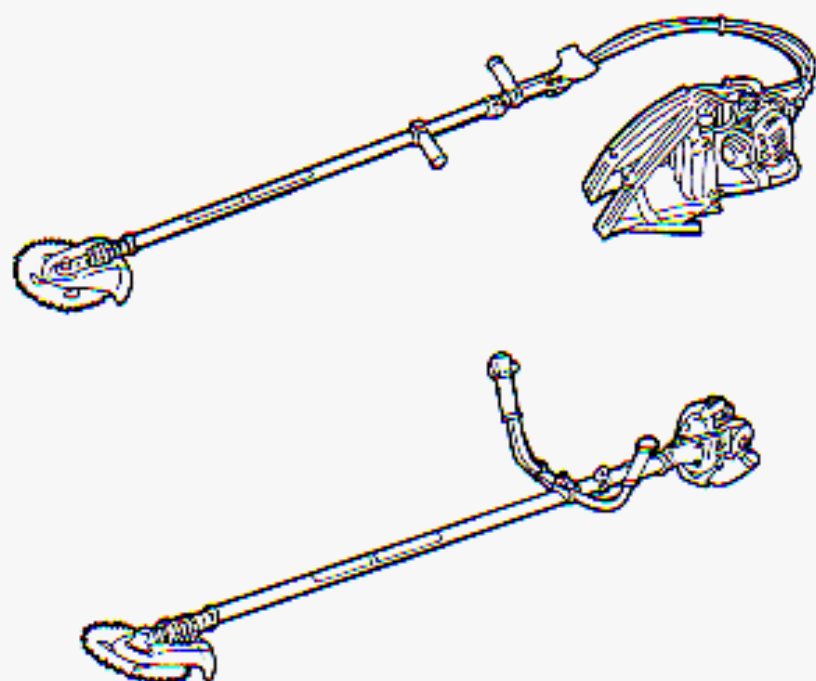
E-JE

軽量刃角度可変型刈払機

背負式 SY SYR

ショルダ式 X XR

取扱説明書




▲重要

- ・この刈払機は畦草刈り専用です。
- ・山林の下刈り、かん木、竹などの切断に使用されますと、著しい寿命の低下につながります。

▲注意

- ・製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- ・取扱説明書はいつでも読めるように大切に保管してください。

 山田機械工業株式会社

はじめに

このたびはピーパー刈払機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は製品の正しい取扱方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。初めてお使い頂く方はもちろん、すでにご使用の経験をお持ちの方にも再認識の上でお役に立つものと考えております。この取扱説明書および別冊エンジン取扱説明書も合わせて繰り返しお読み頂き、良くご理解頂いた上、安全で効率の良い作業を始めてください。

ピーパー刈払機の常におこたらない品質改良のため、取扱説明書の中にお買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。あらかじめご了承ください。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容についてのご質問は、お買い上げ店または営業所までお問い合わせください。

▲安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な事項です。よく読んで必ず守ってください。

・ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

▲ 警告 : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるもの示しています。

▲ 注意 : 注意事項を守らないと、けがを負う恐れのあるもの示しています。




重 要 : 注意事項を守らないと、機械の損傷や故障の恐れがあるもの示しています。

補 足 : その他、使用上役立つ補足説明を示します。

・ 操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。

これらの表示に従って誤操作のないようにご注意ください。

マーク表示部位	図 柄	意 味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表します。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作すると、チョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作すると、チョークが開くことを示します。

注：機種によって図柄は異なることがあります。

目次

安全に作業するために	3
本製品をお使いになる前に	3
作業時の服装	3
火災防止	3
作業前の点検	3
作業時の注意	4
警告ラベルとその取扱い	5
1. 仕様・性能	6
2. 各部の名称	7
3. 組立	8
1) 背負式	
後部ジャバラの組付、フレキシブルシャフトの挿入	8
肘受の取付	8
2) ショルダ式	
エンジンとメインパイプの取付	9
じハンドルの組付	9
3) 背負式、ショルダ式共通	
ループハンドルの組付	9
スロットルワイヤの組付	9
ストップスイッチコードの接続	10
飛散防護カバーの取付、刈刃の取付	10
移動時カバーの取付、背負式の吊ゴム紐の取付	11
4. 燃料	11
5. エンジンの始動と停止	12
エンジンの始動	12
エンジンの停止	13
6. 操作方法	13
背負式のエンジンの背負い方	13
刈角度の変更方法	14
背負式のグリップ位置の調整	16
7. 刈払作業	16
8. 各部の手入れと長期保管	
刈刃	17
背負式のフレキシブルシャフト	18
肩掛式のフレキシブルシャフト	18
ギヤケース	18
清掃	18
点検項目	19
長期保管	19
安全説明確認カード	20
保証書	22

▲安全に作業するために

刈払機を安全にご使用頂くためには、正しい操作と定期的な保守が必要です。

取扱説明書および別冊エンジン取扱説明書に示されている内容をよくお読みになり、十分に理解されるまで刈払作業ならびに保守作業は行わないでください。

この取扱説明書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、刈払機を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。

1 本製品をお使いになる前に

- ・本製品は刈払専用機です。不測の事故を防ぐため、本来の使用目的以外には使わないでください。
- ・本製品は高速回転する刃物を装備しています。操作を誤ると大変危険です。次のような場合は作業を行わないでください。
 - ①疲労など体調が悪い場合や、かぜ薬の服用時、飲酒時での作業。
 - ②風の強い日や降雨、雷など天候の悪い時。
 - ③夜間や濃霧など、周辺の状況判断がむずかしい時。
 - ④子供や、説明を受けていない人には使用させないでください。
- ・作業は30～40分を限度とし、10～20分休憩を取り、決して無理な作業はしないでください。
(参考) 国有林では作業者の健康管理のため次のような基準が設けられています。

作業は連続3日を限度として

1回の連続作業時間	30分以内
1日の作業時間	2時間以内
1週の作業日数	5日以内
1月の作業時間	40時間以内

- ・補給用燃料容器は丈夫で、密閉できるものを使用してください。
- ・エンジンの排気ガスによる中毒を防ぐため、換気の悪い場所での使用はしないでください。
- ・この取扱説明書は必ず保管して、分からないことがあった場合、必要に応じてご参照ください。
- ・本製品を譲渡または貸与するときは、使用方法の説明とともに、この取扱説明書を必ず添付してください。

2 作業時の服装

- ・刈払作業には次のような用品を着用してください。
 - ①すそを絞った長袖の上着と長ズボン。
 - ②滑り止めの付いた長靴または安全靴。
 - ③帽子またはヘルメット、防護メガネ。
 - ④丈夫な手袋、耳栓など。

3 火災防止

- ・非常に引火しやすいガソリンを燃料としているため、次の事項をお守り頂かないと、火災の原因となります。
- ・燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し、くわエタバコなどまわりに火の気がないこと、燃料洩れがないことを確認してください。
- ・燃料を補給するときは、燃料をこぼさないようにし、もしこぼしたときは必ずふき取ってください。こぼしたまま作業を行うと、マフラの熱や、電気系統のスパークによる火災を起こし、やけどを負う危険性があります。
- ・給油後、燃料容器は密閉し火の気がなく、日の当たらない涼しいところに置いてください。
- ・エンジンを運転したまま、または停止直後は、マフラが熱いので枯れ草などの上に置かないでください。

4 作業前の点検

- ・作業前には必ず各項目に従って点検を行ってください。
- ・点検は必ずエンジンを停止してから行ってください。

▲安全に作業するために

- ・ エンジンが停止中でも安全のため、ストップスイッチは必ずOFF（停止）にしてください。
（押しボタン式は除く）
 - ・ 停止直後は、マフラや点火プラグに触れないでください。やけどの危険性があります。
 - ・ 製品の改造、分解はしないでください。故障や正常な操作ができなくなる危険性があります。
 - ・ 各ボルト、ナット、シャフトにゆるみやガタがないこと、特に刈刃の組込みが完全なこと、ギヤケースの支持部にガタのないことを確認してください。
 - ・ 刈刃に「チップ飛び」「亀裂」「欠け」「曲がり」などがないことを確認し、異状のある場合は新品の刈刃と交換してください。
 - ・ 交換部品はすべて、ピーパー純正部品を必ず使用して下さい。特に刈刃部への代用品の使用はさけてください
 - ・ ときどき刈刃と刃受金具を外しベアリング部に入りこんだ草、土、ほこりなどを取り除いてください。
- 5 作業時の注意**
- ・ エンジン始動の際、周囲に人がいないこと、刈刃が地面その他のものに触れていないことを確かめてください。
 - ・ 感電ショックを受けないよう運転中は、点火プラグキャップや、高圧コードに触れないように注意してください。
 - ・ 作業者の周囲 15m以内に人を近づけないでください。
 - ・ 飛散防護カバーを外した状態で使用しないでください。
 - ・ 使用中異状振動や異常音を感じたら、ただちにエンジンを停止し詳細に点検してください。
 - ・ 転倒や不意の姿勢変化により、作業機が作動して思わぬ負傷をすることがあります。次のような場合は必ず、エンジンを停止してください。
 - ①移動や作業が終了して、本機を持ち運びする場合。
 - ②巻付いた草などを取り除く場合。
 - ③作業中に後方より声をかけられた場合、振り向く前にエンジンを停止してください。
 - ・ 作業者に近づく場合は、木切れなどを作業者のそば近くに投げて合図をしてください。また笛を利用することもお勧めします。
 - ・ やけど防止のため、運転中および停止直後は、エンジン本体、マフラなどが高温のため、触れないように注意してください。
 - ・ 刈刃は必ず機種に応じて指定したピーパー純正の刈刃を使用してください。
 - ・ 作業中草などに隠れた石や木の切株などに十分注意してください。もし刈刃がこれら硬いものに当たった場合は、すぐにエンジンを停止し刈刃に異状がないか点検し、異状がある場合は交換してください。
 - ・ 傾斜地などは滑りやすいので足元に十分注意してください。
 - ・ 作業中ハンドルやグリップをしっかりと握って操作して下さい。不意に硬いものが当たった時に手から外れることがあり危険です。
 - ・ 作業が終わって移動、または収納する場合は刈刃に移動時カバーを必ず取付けてください。

▲ 警告

- ・ 機械の改造は危険ですので、改造しないでください。
- ・ 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用方法と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

▲安全に作業するために

■ 警告ラベルとその取扱い

① 警告ラベル

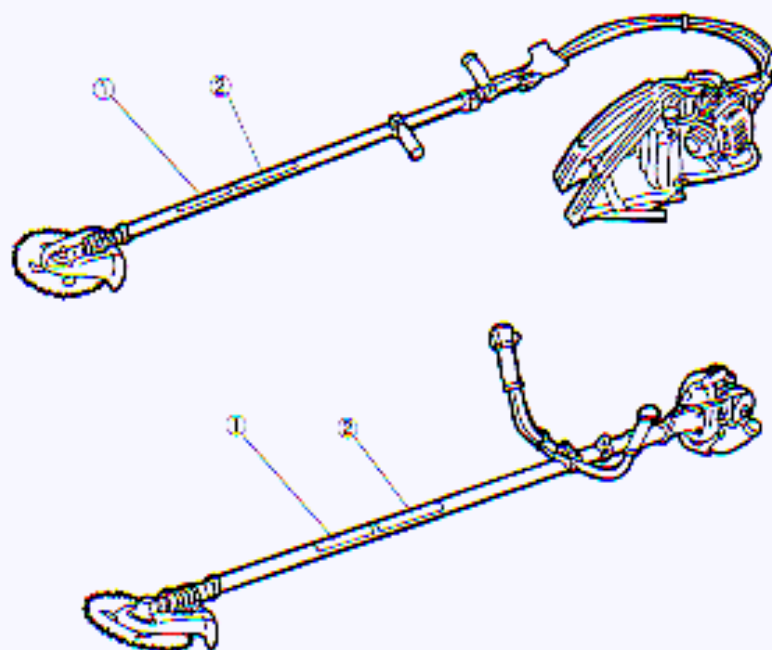
取扱説明書を読むこと ヘルメット、防護メガネ、耳栓着用のこと



② 型式名ラベル



上記ラベルはメインパイプに貼り付けてありますが、エンジン部に貼り付けのラベルについての詳細は別冊エンジン取扱説明書をご覧ください。



■ ラベルのメンテナンス

- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにして傷をつけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したりはがれた場合は、お買い上げの販売店に注文し、新しいラベルと貼り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

1. 仕様・性能

1) 背負式

エンジン部

名 称	背負式刈払機	
型 式	D267M	D267Z
形 式	空冷2サイクルピストンバルブ式ガソリンエンジン	
排気量 cc	25.4	
点火方式	無接点マグネット式	
点火プラグ	BPM7Y	CJ6Y
キャブレタ	ダイヤフラムロータリバルブ式 (D267MはHiニードル付)	
燃 料	2サイクル専用オイル混合ガソリン (ガソリン:2サイクルオイル=25:1)	
燃料タンク容量ℓ	1.0	
始動方式	引き力低減リコイルスタータ式	
デコン仕様	排気デコンブ	
エアクリーナ	半湿式	乾式
外形寸法 mm	300×280×350	
質 量 kg	4.3	
刈刃	9インチ(外径230mm)チップソー	

メインドライブ部

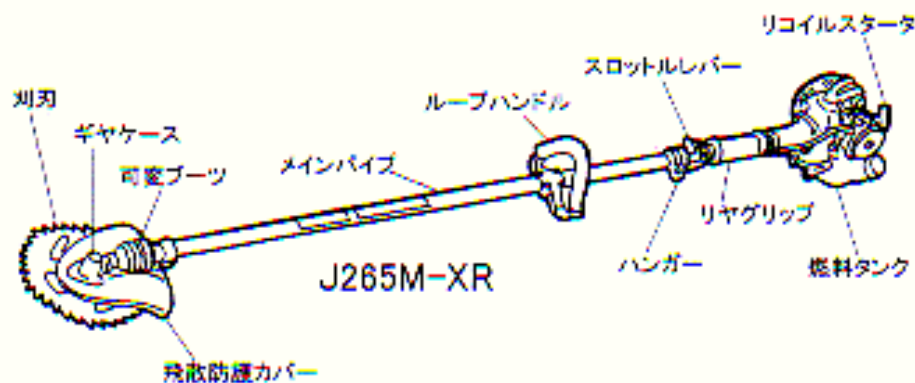
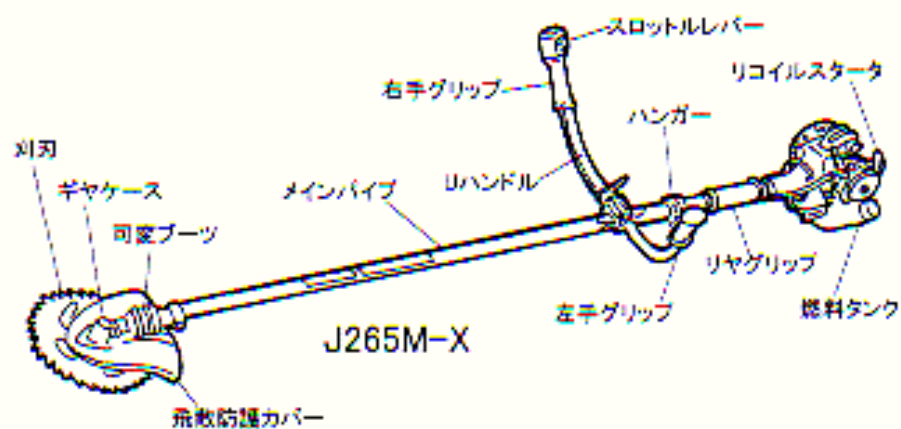
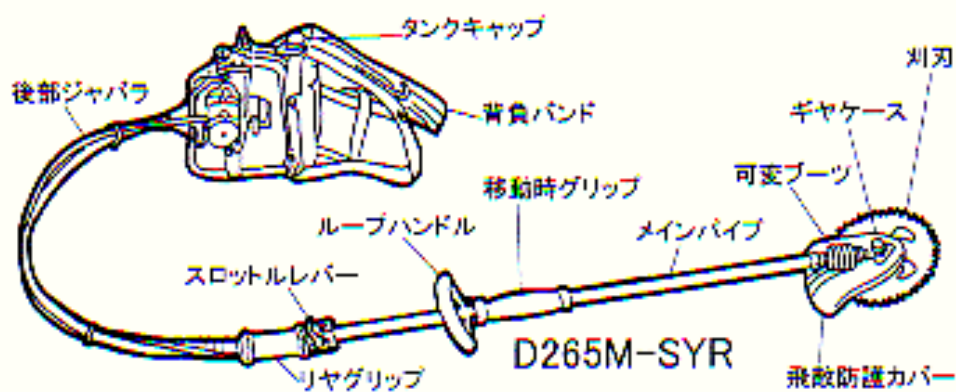
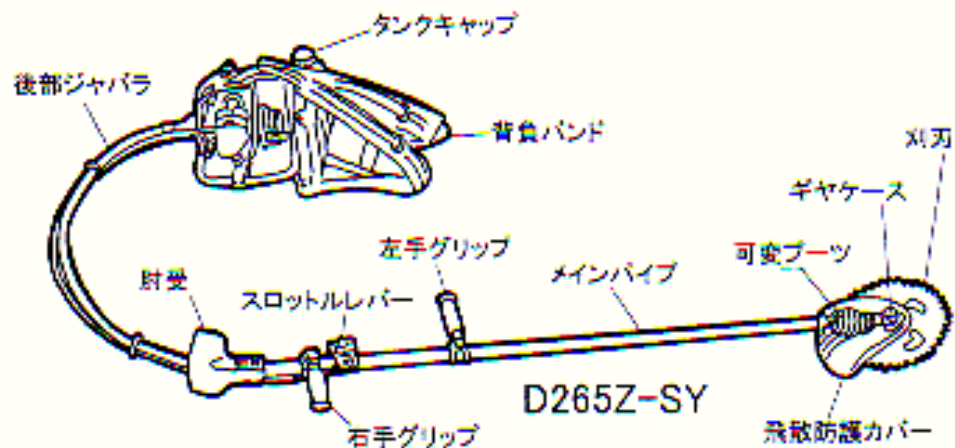
名 称	ビーパー軽量刃角度可変型 背負式刈払機	
型 式	SY	SYR
ハンドル形式	左右 グリップ式	ループ ハンドル
外形寸法 (mm)	全長	2250
	全幅	300
	全高	160
質 量 (kg)	2.6	2.4
刃の回転方向	上から見て反時計方向	
動力伝達方式	フレキシブルシャフトφ6 スパイラルベベルギヤ	

2) ショルダ式

名 称		ビーパー軽量刃角度可変型肩掛式刈払機			
型 式		J267M-X	J267Z-X	J267M-XR	J267Z-XR
ハンドル形式		Jハンドル		ループハンドル	
質 量		4.9		4.6	
外径寸法 (全長×全幅×全高) mm		1790×610×390		1790×230×230	
刈 刃		9インチ (外径230mm) チップソー			
刈刃の回転方向		上から見て反時計方向			
動力伝達方式		自動遠心クラッチ、フレキシブルシャフトφ6、スパイラルベベルギヤ			
エ ン ジ ン 部	形 式	空冷2サイクルピストンバルブ式ガソリンエンジン			
	排気量 cc	25.4			
	点火方式	無接点マグネット式			
	点火プラグ	BPM7Y	CJ6Y	BPM7Y	CJ6Y
	キャブレタ	ダイヤフラムロータリバルブ式 (J267MはHiニードル付)			
	燃 料	2サイクル専用オイル混合ガソリン (ガソリン:2サイクルオイル=25:1)			
	燃料タンク容量 ℓ	0.6	0.75	0.6	0.75
	始動方式	引き力低減型リコイルスタータ式			
	エアクリーナ	半湿式	乾式	半湿式	乾式

- ・質量、外形寸法はエンジンを含んだものです。
- ・質量は飛散防護カバー、肩掛バンド、刈刃を含んでおりません。

2. 各部の名称

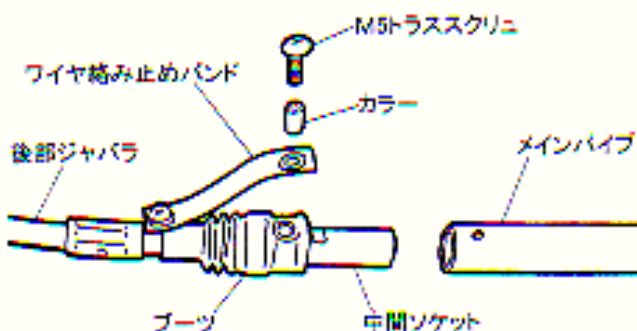
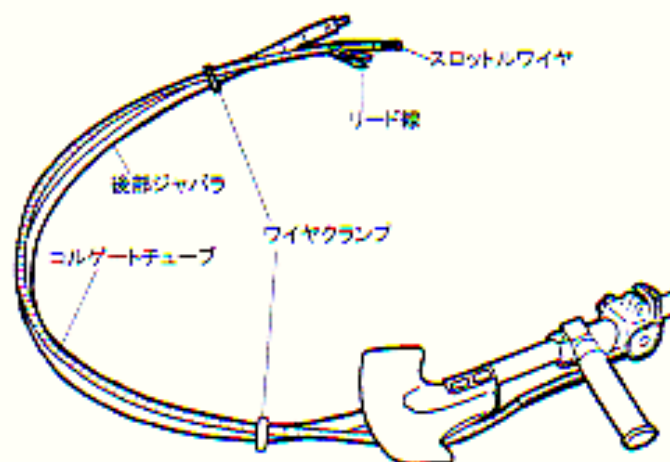
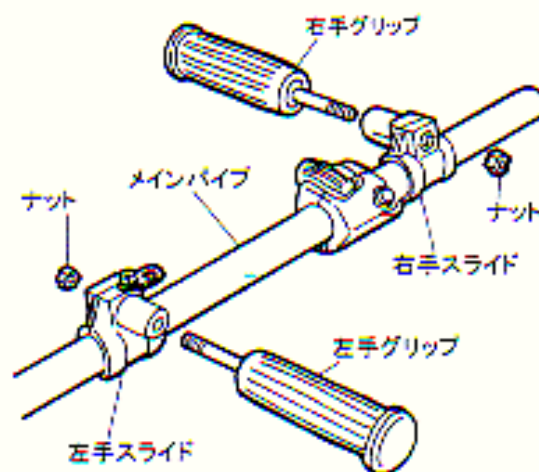


3. 組立

1) 背負式 [SY, SYR]

後部ジャバラの組付

- ①メインパイプ取付けられた左手スライド、右手スライド [SY] に左手グリップ、右手グリップをそれぞれ取付け、ナットで固定してください。
- ②メインパイプに後部ジャバラのついた中間ソケットを挿入してください。
- ③ブーツとメインパイプの穴と中間ソケットのネジを合わせて、カラーとワイヤ絡み止めバンドを順にM5トラスクリュで締め付けてください。
- ④ジャバラにリード線とスロットルワイヤの組込まれたコルゲートチューブをワイヤクランプで取付けてください。



▲注意 スロットルワイヤがジャバラに絡むのを防ぐために、ワイヤ絡み止めバンドを必ず取付けてください。

フレキシブルシャフトの挿入

後部ジャバラの後部プラグよりフレキシブルシャフトを挿入し、挿入後シャフトの後端を回して刃受会員が回ることを確認してください。

補足

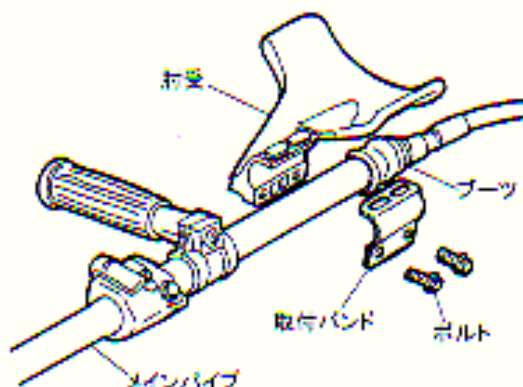
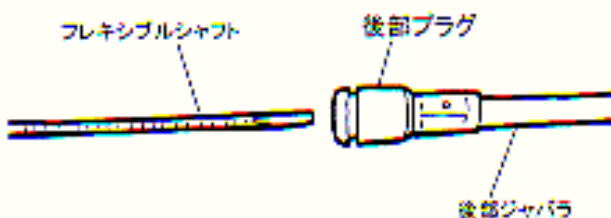
シャフトが途中で入りにくい場合はフレキシブルシャフトを回しながら押すとスムーズに入ります。

重要

シャフト挿入時、砂、ゴミなどが付着しないように注意してください。砂などが内部に入りこむとフレキシブルシャフト、ベアリングなどの摩耗による故障が発生し寿命が著しく低下します。

肘受の取付 [SY]

肘受をメインパイプの右側へ水平になるように、ブーツに寄せて取付バンドとボルト (M6×25) 2本で締め付け固定してください。



2) ショルダ式 [X, XR]

エンジンとメインパイプの取付

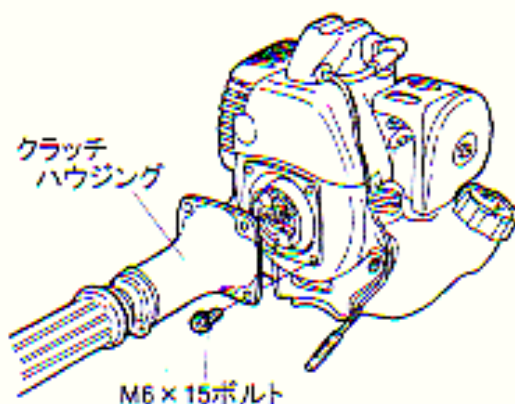
メインパイプのクラッチハウジングを付属のボルト(M6×15)でエンジンに組付けてください。

重要

④ 本のボルトはゆるまないよう均等で確実に締め付けてください。

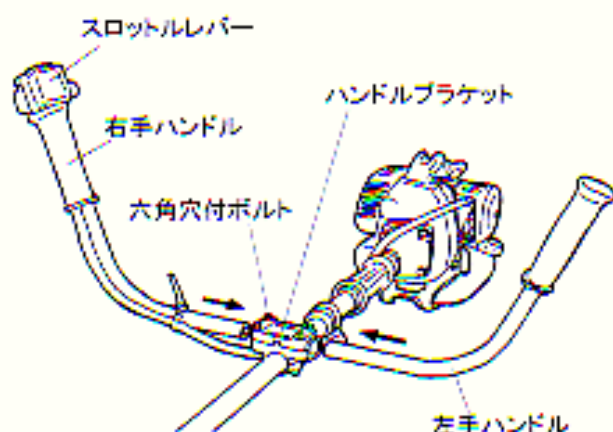
補足

エンジンの燃料タンクが下、メインパイプの先端の刈刃取付部も下になるように取付けてください。



Uハンドルの組付 [X]

- ①メインパイプに取付けられているハンドルブラケットの六角穴付ボルト4本を付属の六角棒レンチでゆるめてください。
- ②右手ハンドル(スロットルレバー付)、左手ハンドルを差し込み、端部同志の合わせ面が中央に来るよう六角穴付ボルトを均等に締め付けてください。



▲注意

使用中にハンドルが動かないようしっかりと確実に締め付けてください。

3) 背負式、ショルダ式 共通

ルーフハンドルの組付 [SYR, XR]

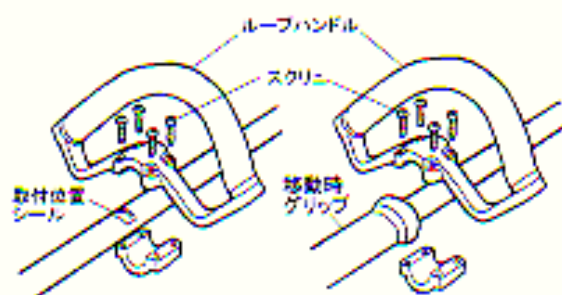
ルーフハンドルを4本のスクリェで取付けてください。取付位置は各機種次の通りです。

[SYR] 移動時グリップの後に取付けてください。

[XR] メインパイプに貼り付けてある取付位置シールの赤い線の後に取付けてください。

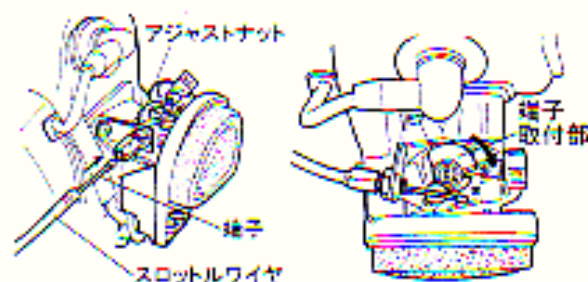
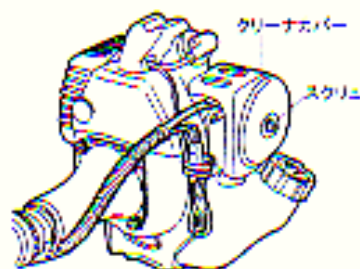
補足

取付位置シールは最適と思われる取付位置を示していますが、身長や好みによって適当な位置に取付けてください。



スロットルワイヤの組付

- ①エアクリーナーカバーのスクリェをゆるめてカバーを取り外してください。
- ②メインパイプに相込んであるスロットルワイヤの端子をアジャストナットに通してください。
- ③キャブレタの端子取付部をワイヤ側に回しながらワイヤ取付部の凹みにはめ込んでください。
- ④ワイヤの遊びが1~2mmになるようアジャストナットを調整してください。

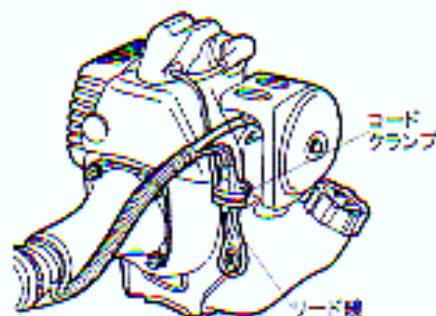


ストップスイッチコードの接続

- ①スロットルワイヤと一緒にご相談であるスイッチコードの端子をエンジン部の端子に接続してください。
- ②エンジンのコードクランプにスイッチコードを固定してください。

補足

スイッチコードやスロットルワイヤが刈払作業中、木の枝などに引っ掛かる恐れがあるので、本機からはみ出さないように固定してください。

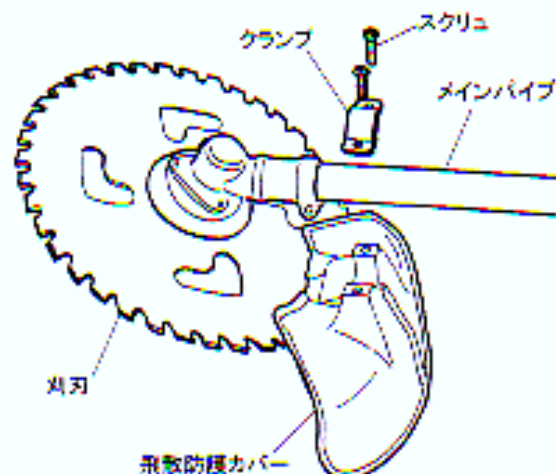


飛散防護カバーの取付

飛散防護カバーをスクリューで均等に締め付けて取付けてください。

▲ 警告

- ・刈刃との隙間十分とって、刈刃に飛散防護カバーが触れないように組み付けてください。
- ・飛散防護カバーは所定の位置へしっかり取付けてください。取り外したりゆるんだままご使用になるとカバーが刈刃に触れて破損したりはね返った石や木切れなどで重大な人身事故につながる恐れがあります。

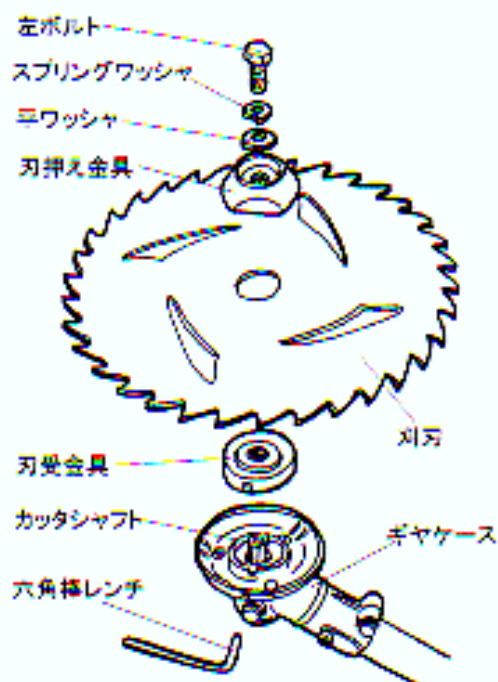


刈刃の取付

- ①刃受金具を cutter シャフトにはめ、六角棒レンチを差し込んで回り止めにしてください。
- ②刈刃をピーマークのある面をギヤケース側にし、刈刃の中央の穴を刃受金具の凸部にはめてください。
- ③刃押え金具の凹部を刃受金具の凸部と cutter シャフトにはめ込んでください。
- ④左ボルトとスプリングワッシャ、平ワッシャで確実に締めつけてください。

▲ 警告

- ・刈刃の交換は必ずエンジンを停止して行ってください。
- ・取付後、刈刃およびカバーが完全に取付けられていることを確認してください。規格やサイズが合わない場合があると、刈刃が外れて重大な人身事故につながる恐れがあります。



重要

- ・刈刃を交換するときその都度刃受金具も外し、ベアリング部に入りこんだ土や草をきれいに取り除いて下さい。ベアリング摩耗によるガタ、さびなどが発生しシャフトが外れる恐れがあります。

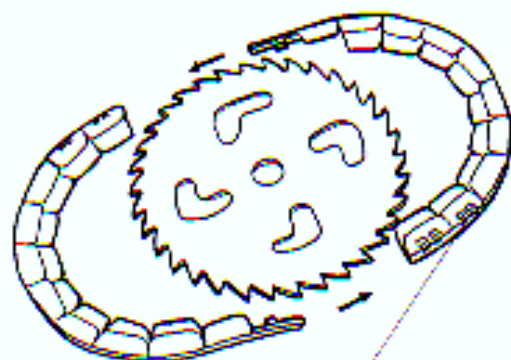
▲ 重要

負荷の大きいナイロンカッターやイグサ刈刃や外径 230mm (9 インチ) を越える大きさの刈刃を使用すると、可変機構の故障の原因となったり、フレキシブルシャフトが切れることがあるため使用しないでください。

移動時カバーの取付

作業が終わって移動したり収納する場合は、刈刃に移動時カバーを取付けてください。

▲ 警告 作業が終わって本機を持ち歩きする場合は刈刃が人や物に触れる恐れがあるので必ず移動時カバーを取付けてください。

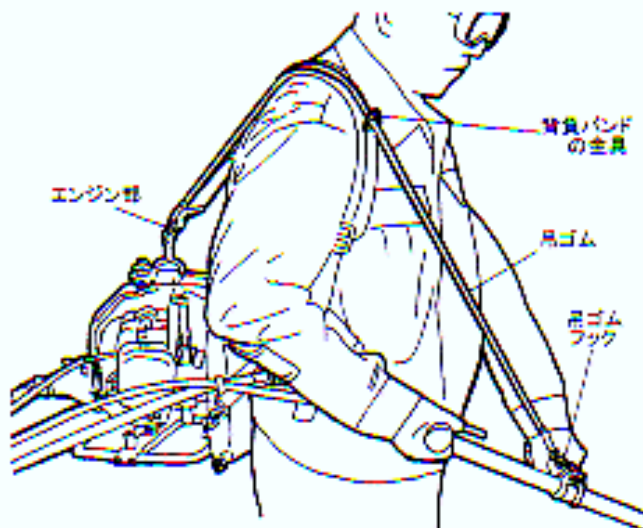
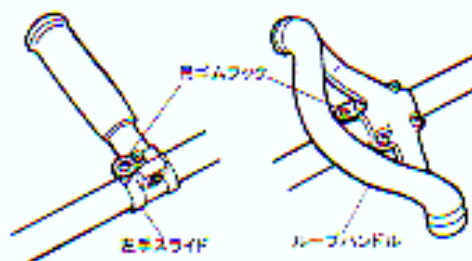


230m/mの位置で止めてください

背負式機の吊ゴム紐の取付

付属の吊ゴム紐を使用すると疲れなくて快速に作業できます。

- ①吊ゴム紐の先端は左手スライドまたはループハンドルに取付けた吊ゴムフックに引っ掛けてください。
- ②吊ゴム紐の後端は背負バンドの金具に通した後、エンジン部の金具に引っ掛けてください。



4. 燃料

燃料はガソリンと空冷2サイクルオイルを25:1の割合の混合燃料をご使用ください。

重要

- ・オイルは必ず空冷2サイクルエンジン用オイルを使用してください。4サイクルエンジン用オイルを使用するとプラグ、マフラー、シリンダ内のカーボンの付着が多くなります。
- ・変質して異臭のする古い燃料は始動不良や、出力不足の原因になりますのでご使用にならないでください。余った燃料は屋内の冷暗所に保管してください。

▲ 注意

- ・給油はまわりにタバコなどの火の気のないところで行ってください。
- ・給油の際、燃料をこぼしたときは、エンジンを始動すると火災の恐れがあるので、必ずふき取ってください。



5. エンジンの始動と停止

▲警告 始動時は刈刃が地面に触れていないこと、まわりに人がいないことを確認してください。始動と同時に刈刃が回転するため危険です。

エンジンの始動 [D265Z]

- ①キャブレタの下にある始動ポンプを数回押し、オーバーフローパイプに燃料が流れるのを確認したら押すのをやめてください。
- ②スロットルレバーを1/2～1/4開いてください。
- ③チョークレバーを閉にし、刈払機をしっかり保持し、スタータロープを軽く引いてください。

▲警告 引き力軽減型リコイルスタータはエンジンが遅れてかかることがあります。エンジンがかかるまで押さえておいてください。

- ④エンジンが始動したらチョークを徐々に開きスロットルレバーをもどして2～3分暖機運転をしてください。

補足

エンジンの停止直後の始動には、ポンプを押さずにチョークを開にしスロットルレバーを戻した状態でスタータロープを引いてください。

重要

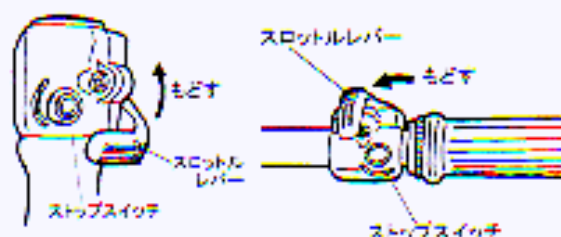
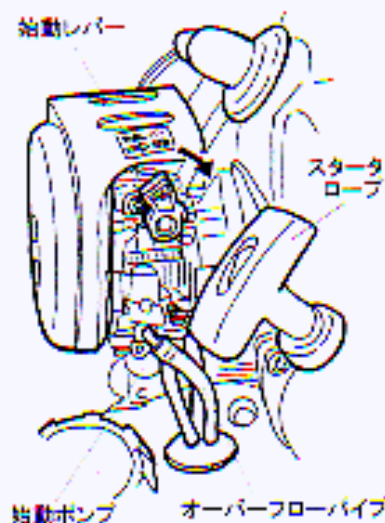
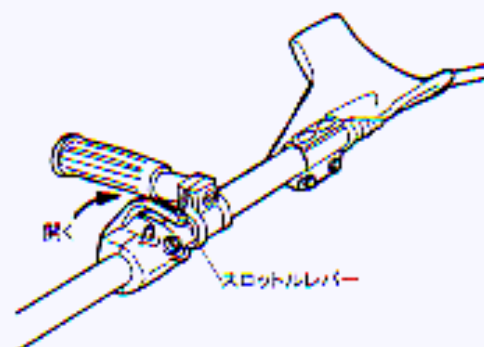
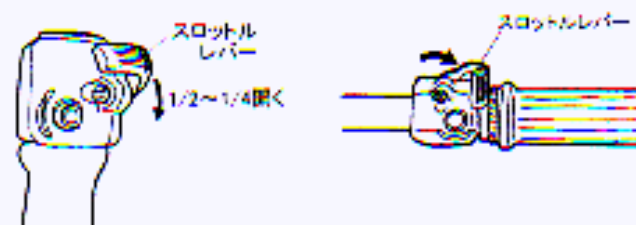
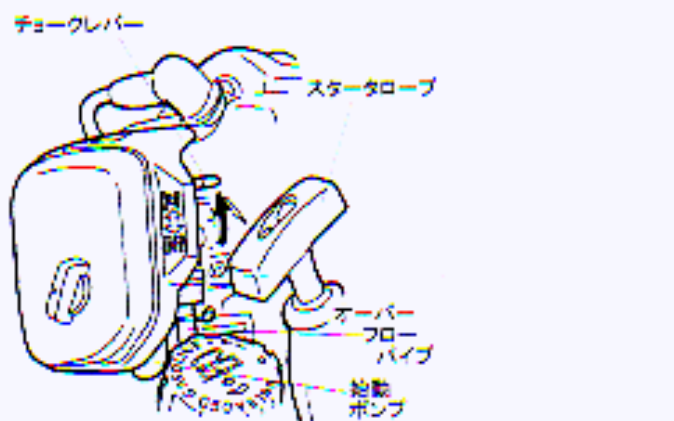
ロープは最後まで引ききったり、引張った状態から手を離さないでください。

エンジンの始動 [D265M, J265M]

- ①キャブレタの下にある始動ポンプを数回押し、オーバーフローパイプに燃料が流れるのを確認したら押すのをやめてください。
- ②スロットルレバーをもどしアイドル位置にしてください。
- ③始動レバー（チョーク）を倒し、始動に位置にしてください。
- ④刈払機をしっかり保持し、スタータロープを軽く引いてください。
- ⑤始動したら、スロットルレバーを高速側に操作し、始動レバー（チョーク）が運転位置に戻ることを確認してください。
- ⑥エンジンが始動したらスロットルレバーをもどして2～3分暖機運転をしてから作業してください。

補足

エンジンが始動後スロットルレバー操作前、操作中に停止した場合は始動レバーを運転の位置に戻して、リコイルスタータを引きエンジンを始動させてください。

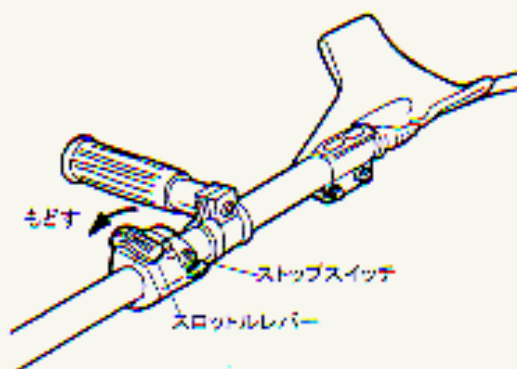


エンジンの停止

- ①スロットルレバーを完全に戻してください。
- ②ストップスイッチをエンジンが停止するまで押し続けてください。

重要

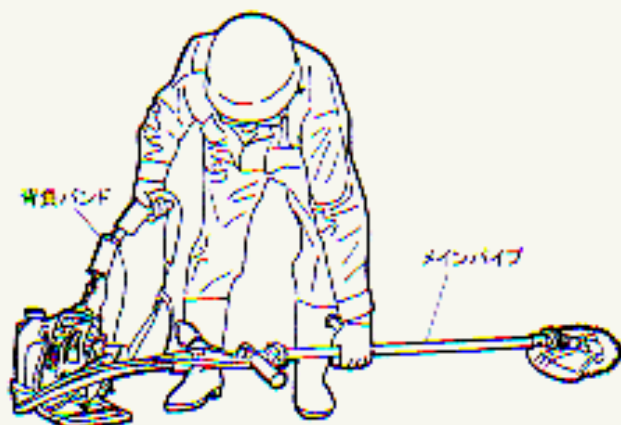
緊急時を除く高速回転からの停止は、エンジンに無理がかかります。必ず低速回転にしてから停止してください。



6. 操作方法

背負式のエンジンの背負い方 【SY, SYR】

- ①左手でメインパイプ中間部を持ち、右手で本機の背負バンド右を持ち右肩に掛けます。
- ②メインパイプを右手に持ち替え、背負バンド左を左肩に掛けます。
- ③背当マットが腰の上になるよう背負バンドの長さを調節してください。
- ④背中でエンジンが安定するように、胸バンドを適度に締め付けてください。
- ⑤左の手のひらを下に、右の手のひらは上に向けてグリップを握り、右肘は肘受にのせます。



- ▲ 警告
- ・背負う時は、まわりに人のいない事を確認し、必ず刈刃が停止してから背負ってください。
 - ・刈刃が回転したまま背負うと、回りのものに触れた場合刃が大きくはねられたり刈刃が欠けて飛ぶことがありたいへん危険です。
 - ・まわりに人がいると人身事故を起こす恐れがあります。

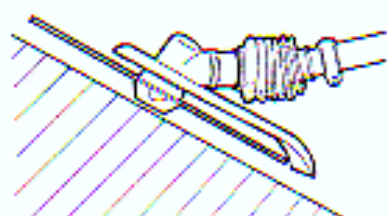
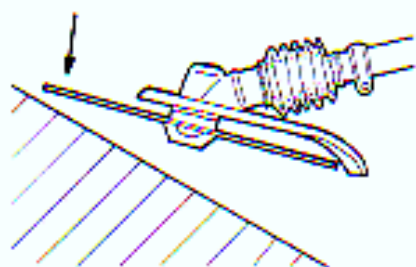


- ▲ 警告
- 背負う時、後部ジャバラにスロットルワイヤが巻きついていないか確認してください。巻きついていると始動時に刈刃が急に回り非常に危険です。

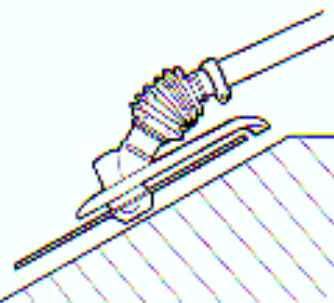
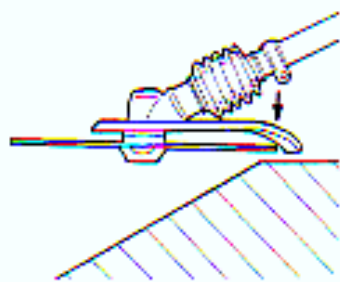


刃角度の変更方法

①刈刃の先端を法面で軽くたたくと刈刃の回転軸の角度はメインパイプに対して最大約 135° となります。平坦地での作業や、土手の下から斜面を刈るような作業などに適しています。身長と地形に合わせて角度を決めてください。

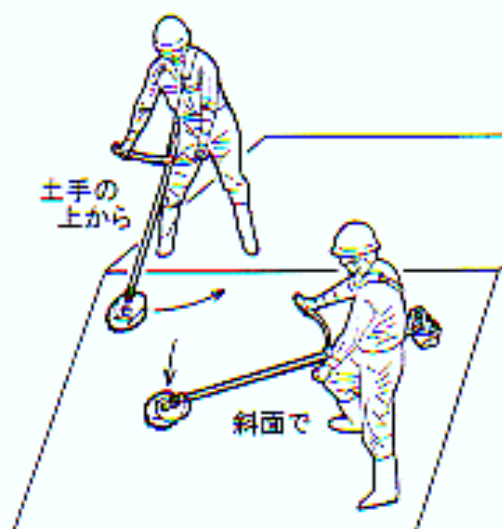
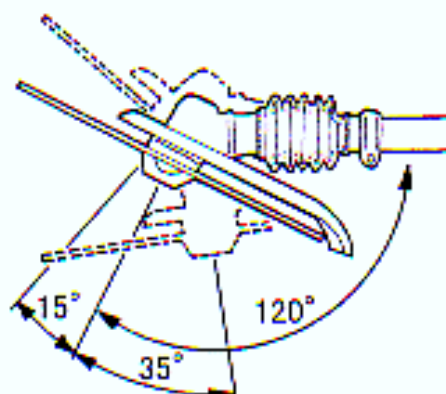
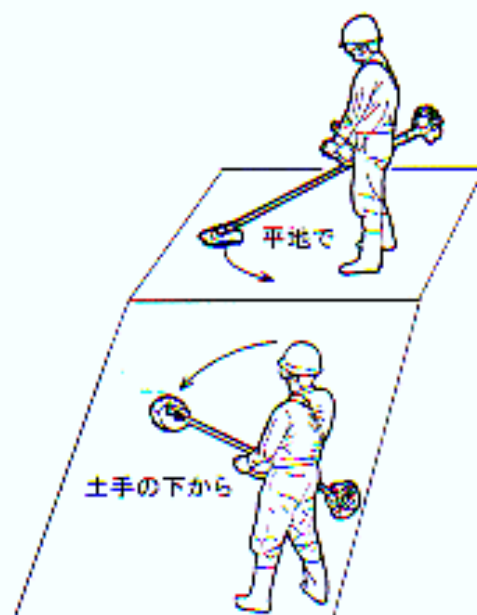


②刈刃の後端を法面で軽くたたくと、刈刃の回転軸の角度はメインパイプに対して最大約 85° になります。土手の上から下に向かっての作業や、土手の斜面に立って斜面を刈るときなどに斜面に合わせて刃角度を調整してください。



▲重要

- 刃角度可変部のゴムのブーツが破れると可変機構に重大な不具合が発生する恐れがありますので、販売店で速やかに新品と交換してください。
- 刃角度変更時、飛散防護カバーを法面などでたたかないでください。



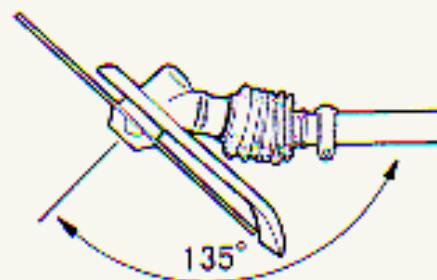
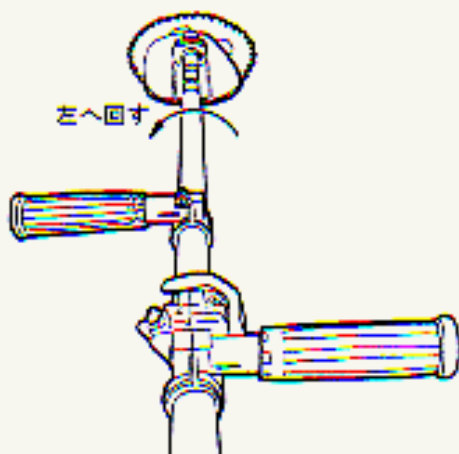
▲警告

- 刃角度変更は必ず、刃の回転が止ってから行って下さい。
- 刃角度可変部は分解しないでください。正規に組立がなされないと非常に危険です。
- もし作動不良などが発生した場合は販売店にご相談ください。

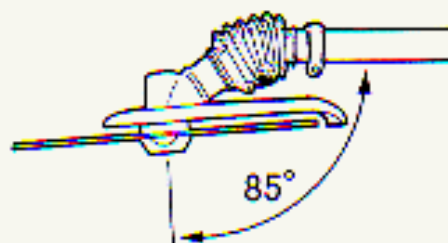
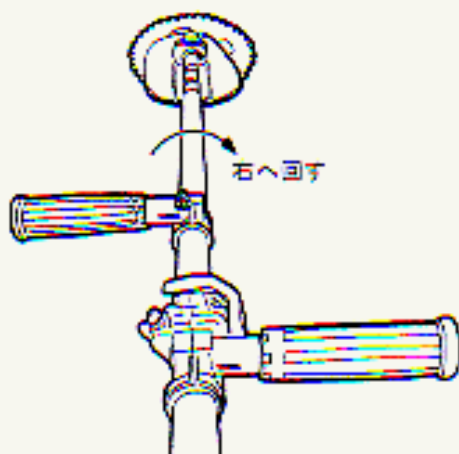
重要

刃角度は刈刃のジャイロ効果を生かして次のようにしても変更できますが、非常に危険ですし、刃角度可変部にも重大な不具合を発生する恐れがありますのでしないでください。

- ①エンジンの回転をあげ（5000～6000rpm）、メインパイプを軸にすばやく左に回すと、刈物軸とメインパイプの角度が最大 135° になります。



- ②エンジンの回転をあげ（5000～6000rpm）、メインパイプを軸にすばやく右に回すと、刈物軸とメインパイプの角度が最大 85° になります。

**重要**

外径 230mm (9 インチ) を越える大きさの刈刃を使用すると、ジャイロ効果が大きく発生し、刈払機先端のちょっとした動きで刃角度が大きく変化することがありますので、可変機構の故障の原因となったり、フレキシブルシャフトが切れることがあるため使用しないでください。

警告

- ・ エンジンの回転をあげ、メインパイプを軸にすばやく左右に回すと刃角度が割りますが、非常に危険ですからしないでください。
- ・ 刃角度変更は必ず、刃の回転が止ってから行って下さい。

背負式のグリップ位置の調整 [SY]

左右のグリップを左に回してゆるめることにより、固定位置を変更できます。身長や好みによって位置を変更してください。位置が決まったら必ずグリップを右に回して締め付け固定してください。

補足

左右グリップは刈刃と平行になるように固定してください。



- ▲ 左右グリップの位置変更は必ず、刃の回転が止まってから行ってください。
- ▲ 左右グリップは作業中動かないようしっかり締め付けてください。
- ▲ 作業中ゆるんだ場合、ものに当たって刈刃やメインパイプが大きくはねられる恐れがあります。

7. 刈払作業

▲ 警告 作業を始める前に必ず、3 ページ、4 ページの「安全に作業するために」の事項を守ってください。

- ① 背負式は背負バンドを、ショルダ式は肩帯バンドを肩にかけ、刈刃が地面とほぼ平行になるように刃角度を決めてください。
- ② エンジン回転を草の状態によって調整して下さい。柔らかい春草などはスロットルを半開程度、秋草や密生している草は 2/3 開程度に回転を上げて下さい。
- ③ 足は左右に 60~70cm 開き、右足を前にし、右足から進むようにします。刈刃は左に 30° 傾け状態で右から左に向かって振ります。刈刃いっぱい刈ろうとせずに、刈刃の左前半分で刈るようにしてください。
- ④ 先に右足を約 15cm、次に左足を約 15cm 前進させます。

▲ 警告 必ず、右足を先に出して進んで下さい。左足を先に前に出すと刈刃で切る恐れがあります。

補足

- ・ 刈刃の回転が低くすぎると草の巻付きが多くなるばかりでなくクラッチの早期摩耗の原因ともなります。
- ・ 刈刃いっぱいの幅で刈ろうとすると、刈り残しができたり、刈った草がきれいにそろわず飛散したりします。



左足は少し下げる

▲
警
告

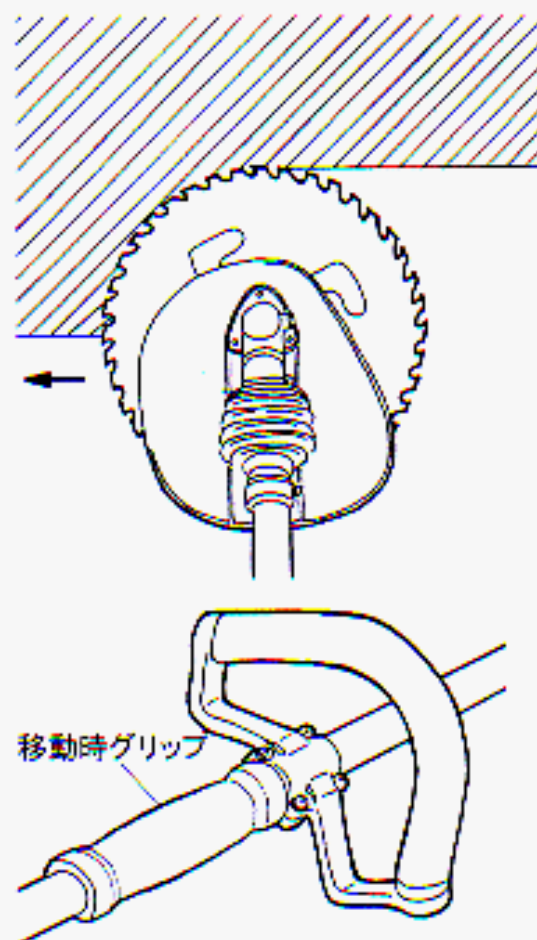
- ・刈払作業はどのような場合でも、刈払い対象物を刈刃の左側で切るように、必ず右から左に向かって切ってください。これは刈刃の回転が左回転のため、刈刃の右側に硬いものが当たると、刈刃が急速度で作業者にはねかえってることがあり非常に危険だからです。
- ・刈払作業の際、草に隠れた石や木の切り株には十分注意して下さい。刈刃が欠けたり石が手前に飛んでくることがあり危険です。

▲
重
要

- ・この刈払機は畦草刈り専用です。
- ・山林の下刈り、かん木、竹などの切断に使用されると、著しい寿命の低下につながります。
- ・負荷の大きいナイロンカッターやイグサ刈刃を使用すると、フレキシブルシャフトが切れることがあるため使用しないでください。

補足

移動時や、斜面での作業時に移動時グリップを使用すると楽に作業ができます。



8. 各部の手入れと長期保存

刈刃

- ①刈刃部のシャフト、ボルト、支持部にガタやボルトのゆるみがないか確認し、異状がある場合は増し締めまたは交換してください。
- ②刈刃や飛散防護カバーに草やビニールが巻付いていないか確認して下さい。また、巻付防止カバーや、刃受金具の中に巻付いた草やビニールが入っていないかも確認してください。
- ③刈刃に「チップ飛び」「亀裂」「欠け」「曲がり」などが無いか特に注意して点検して下さい。異状がある場合は新品と交換してください。

重要

- ・刈刃の切れ味が悪いとエンジンやシャフトに無理がかかるばかりでなく、作業効率も低下し疲労度や危険性も増します。
- ・刃受金具の中に巻付いた草やビニールが入ったまま使用すると、回転が上がらなったりベアリングの異状摩耗などの故障につながり危険です。

▲
警
告

- ・点検整備は必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・本機の改造や分解はしないでください。
- ・点検整備は作業前および終了した都度行ってください。

チップ飛び



背負式フレキシブルシャフト [SY, SYR]

使用25時間ごとにフレキシブルシャフトを1m位後部ジャバラのプラグより引き抜き、グリスを塗布してください。

重要

グリスが不足すると、振動が大きくなったり、ジャバラが過熱して被覆が破損したり、フレキシブルシャフトが切れることがあります。

特に、ボールジョイント付近内部はグリスが希薄になるので、エンジンから外した時はグリス分があるか確認してください。

肩掛式フレキシブルシャフト [X, XR]

使用 25 時間ごとに、もしくは振動を感じたときはフレキシブルシャフトへグリスを10g 補充してください。

- ①エンジンをスタートさせアイドルから少し上がった位で回してください。
- ②クラッチハウジング部のグリスニップルよりグリスを補充してください。

補足

グリスポンプも持ち合わせのない場合は、グリスニップルを外しピーパー純正グリスのチューブをねじ込んで補充してください。

重要

- ・グリスだまりの容量は 50cc です。無理に入れないで下さい。強引に入れるとグリスがクラッチのほうへ流れ故障の原因となります。
- ・グリス不足になると振動が大きくなったり、ジャバラが過熱して被覆が破損することがあります。

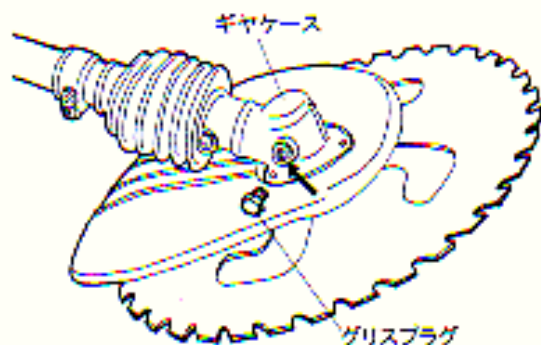
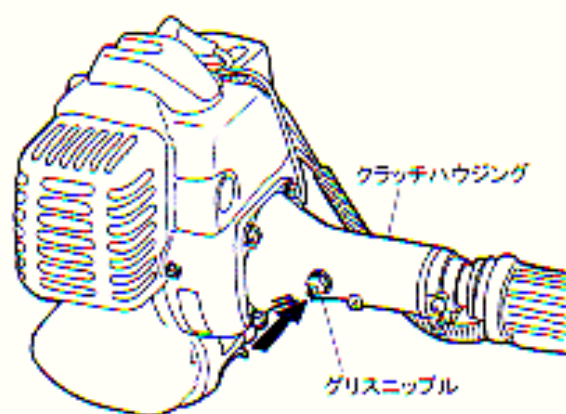
注意 グリス補充時には刈刃が人や物に触れないように十分注意してください。

ギヤケース

使用 25 時間ごとにギヤケースのグリスプラグ (M6×10) を外してグリスを注入してください。

清掃

エンジンのエアクリーナや冷却風の通り道に付着したほこりやゴミをていねいに取り除いてください。ゴミの付着はオーバーヒートの原因となります。

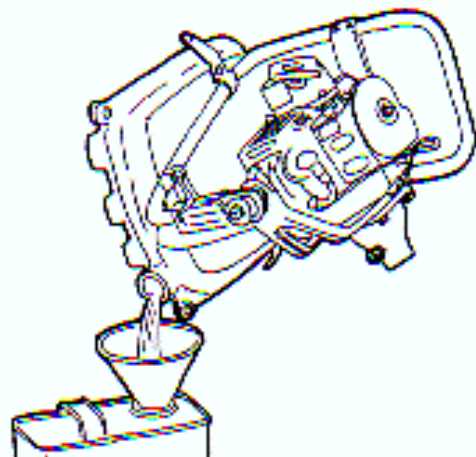


点検項目

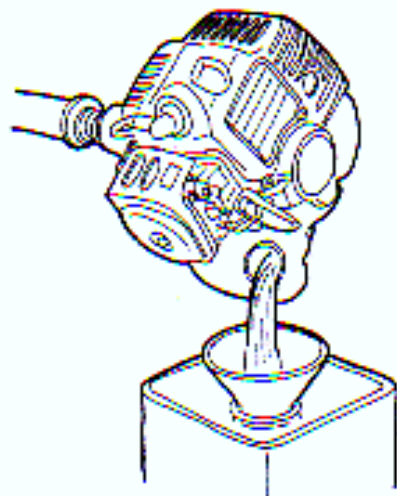
点検部位	点検内容	処置
刈刃	・ 取付ボルトのゆるみ ・ 割れ、曲がり ・ 刃先摩耗	・ 増し締め ・ 交換 ・ 交換
カッタシャフト	・ ガタ	・ ベアリング交換
ギヤケース	・ 締付ボルトゆるみ	・ 増し締め
刃受金具	・ 内部に草などの混入	・ 清掃
飛散防護カバー	・ 締付ボルトゆるみ ・ 破損	・ 増し締め ・ 交換
グリップ ハンドル	・ ボルト、ナットゆるみ ・ 破損、曲がり	・ 増し締め ・ 交換
ストップスイッチ	・ コードの抜け ・ コードの断線	・ 接続 ・ 交換
後部ジャバラ	・ 被覆破損	・ 交換
エアクリーナ	・ 目づまり	・ 清掃
冷却風の通路	・ 草、ほこりの付着	・ 清掃
燃料タンク	・ 傷によるもれ ・ 取付ネジゆるみ ・ キャップからのもれ ・ 燃料パイプに傷	・ 交換 ・ 増し締め ・ パッキン交換 ・ 交換
スロットルワイヤ	・ 動き不良 ・ 遊び不良	・ 交換 ・ 調整

長期保管

- ① 清掃と注油を行った後、各部を点検してください。
- ② 燃料タンクより燃料を出した後、エンジンを低速で自然に止るまで運転してキャブレタ内の燃料を使い切ってください。
- ③ 点火プラグを外し、2 サイクルエンジンオイルを数滴シリンダ内に注入しリコイルスタータを数回引きシリンダ内にオイルを塗り広げ、圧縮のあるところで止めてください。
- ④ 移動時カバーを刈刃に取付け、チリやほこりが付着しないよう保管してください。

**重要**

燃料は必ずエンジンから抜き取ってください。燃料タンク内へ燃料を長期入れておくと、オイル分がキャブレタやフィルタ内で変質し、目づまりによる始動不良など故障の原因となります。



安全説明確認カード

下記の販売説明員から刈払機の安全な取り扱いと操作および保証書の内容について説明を聞きました。

フリガナ お客様のお名前	印
お客様ご住所	〒□□□-□□□□
お電話番号	TEL ()
ご購入商品 型式名	E-JE 刈払機
製造番号	No.
納入日	平成 年 月 日
説明日	平成 年 月 日
販売店住所	〒□□□-□□□□ TEL ()
販売店名	印
納入説明者	

保証書

ご購入者お名前	お買い上げ日 平成 年 月 日
ご購入者ご住所	販売店名 _____ 印
お電話番号 ()	電話番号 ()
商品名・型式 ピーパー刈払機	製造番号 No. _____

お買い上げいただきました商品は厳重な商品管理のもとに製造されていますが、万一、材質または製造上の欠陥により故障が発生した場合は、下記の規定に従って無料で修理させていただきます。

● 保証の期間

この保証の有効期間は未使用商品お買い上げの日から 1 年間です。ただし、専門業者またはレンタル業などを業としてご使用の方は、お買い上げの日から 3 ヶ月以内とさせていただきます。また、上記販売店記入欄が空白の場合は無効となりますので、お買い上げ時にご確認ください。

● 保証手続

この保証による無料修理（以下、保証修理と言います）をお受けになる際は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

● 保証外事項

次のいずれかの場合は保証修理または損失補填の責を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ・取扱説明書記載の注意事項に従わなかったり、日常点検整備を怠った結果生じた故障
- ・弊社の認めない改造およびそれらに起因する故障
- ・お買い上げ販売店または弊社特約店以外での修理およびそれらに起因する故障
- ・商品分解状態でのお持込み
- ・純正部品または指定品以外の使用に起因する故障
- ・商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなど感覚的な現象
- ・使用損耗および経年変化による外観の劣化（褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
- ・自然災害または事故、過失、不注意による機体の損傷
- ・消耗部品および油脂類（フレキシブルシャフト、ゴムブーツ類、スパークプラグ、パッキン、ガスケット、エアクリーナエレメント、燃料フィルタ、コントロールワイヤ、バッテリーおよびこれらに類する消耗品、燃料、エンジンオイル、グリスおよびこれらに類するもの）
- ・修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費など）
- ・商品が日本国外で使用される場合（This warranty is valid only in Japan.）